

# 広報文芸

## 自由律俳句

おおくさの会編集室選

ひとり居には慣れたはず雪に灯した寒椿 茶屋 小林 道子  
 鬼とでも一緒に食べたかった恵方巻き 茶屋 藤原 寿郎  
 静かに雪の降る朝下界を走る電車の音遠く 神戸上 柴田 篤子  
 雪の扉よいしょと開き春の日差しが暖かい 茶屋 木山 輝子  
 雪降りし炬燵囲み老二人 宝谷 長尾 智恵  
 頂いた葱の大束軒下に青々雪に映える 生山 渡辺 圭子  
 炬燵で編み物をしているしんと雪降る日 茶屋 長谷川由美子

## 短歌

夜半聞く近づく春の足音か ふすまゆるがす雪つりの音 湯河 山田 司郎  
 山桜こぶし満開好季節 家族で花見ドライブの旅 下石見 浅川 三郎  
 立春を過ぎて列島寒気団 東北の雪十尺を超えて 下石見 浅川 三郎  
 吾も観て桜並木の名所かな 笑顔满面ノルディックウオーク 上石見 福田 輝之  
 山路来て古木に咲きし山桜 両腕伸ばし晴天を衝き 上石見 福田 輝之

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。

## 俳句

駄句駄句会編集室

春月や明日の荒天ひかえ晴れ 萩原 岡本 健三  
 焦げぐせの鍋を磨きぬ今朝の雪 宮内 木村萬佐子  
 通販の服の桃色春隣 宮内 田邊登志美  
 待ち侘びてかたき蕾の春告草 宮内 船越 裕子  
 雪深く造花で済まず仏壇へ 矢戸 和田 淑子  
 雪の技丸い橋ありすだれあり 菅沢 泰 節  
 ふたたびの桜の花をながめつつ 神戸上 笹間 玲子  
 楽しきは曾孫ふたりと春だより 神戸上 笹間 玲子  
 雪明り家の灯にじむ楽し里 下石見 矢田貝 元  
 トマト苗じいちゃんお早う手を拡げ 花口 新田 祐士  
 日野川に朝もや立ち込め春近し 花口 新田 祐士



## 「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

### 4月の日程

6日(日)・20日(日)14時〜15時30分  
 場所 文化センター第3会議室

### 【問合せ】

石田由香里(08030529933)  
 浅野 博美(09097341887)

### 「はじめまして」



**最初**  
 左手の甲に右手を乗せ、人差し指以外を閉じながら上に上げる



**会う**  
 両手の人差し指を立てて、前後から寄せる

### 「よろしくお願いします」



握った右手を鼻先に当て軽く前に出す



頭を下げながら手を開き前に出す

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

